

寄贈品コーナー 平塚の地盤と活断層

期間：2012年6月16日（土）～7月29日（日）

地盤図増刷！



展示と増刷した図録

昨年、3月11日の東日本大震災では、相模平野地域でも、平塚市岡崎・真田・根坂間、秦野市南鶴巻、茅ヶ崎市みずぎなどで、地盤が沈下したり、液状化により砂が吹き上がったり、ブロック塀が倒壊したり、瓦が落下したり、電柱が傾いたりしました。被害が大きかったこれらの地区はいずれも台地を刻む小河川の谷戸で、かつて水田地帯であったところで、厚い軟弱地盤からなっている地域でした。地震後、博物館には、市民の皆様から地盤についての問い合わせが多数寄せられました。博物館では2007年に特別展「平塚周辺の地盤と活断層」を開催し、同名の展示解説書と「平塚周辺の地盤図」(25,000分の1)を刊行しました。これらの書籍と地盤図は、震災後に売り切れてしまったので、今回、新たに増刷いたしました。ここでは、書籍と地盤図の再刊にあわせて、「平塚の地盤と活断層」について展示します。平塚市域の地盤がどのような地層や地形からなっているのか、どういう地盤が軟弱地盤と呼ばれるのか、液状化はどのようなところで発生しやすいのか、活断層はどこに走っているのかなど、私たちの住む平塚の地盤について、見直していただけたらと思います。

地盤図増刷

図録「平塚周辺の地盤と活断層」[付図別売]

(1000円)

付図「平塚周辺の地盤図」 (300円)

受付にて6月16日より販売予定。

講演会「地震と平塚の地盤—軟弱地盤と活断層—」

日時：7月15日(日)14時～16時

場所：博物館講堂

参加：自由